

## 第一次導入候補校の導入の可否、及び第二次以降の導入候補校選定の方向性について（案）

### 1 第一次導入候補校の導入の可否について

第3回中高一貫教育導入検討部会において、第一次導入候補校へ導入する方向で概ね理解が得られたことから、第一次導入候補校4校へ、2025年4月に、併設型中高一貫教育を導入する。

地 区	導入校	併設中学校 1学年の学級数
名古屋	明和高等学校	2学級
尾 張	津島高等学校	2学級
	半田高等学校	2学級
三 河	刈谷高等学校	2学級

※明和高等学校音楽科へ少人数の中高一貫教育を導入する。

### 2 第二次以降の導入候補校選定の方向性について

(1) 第一次導入候補校と同様の教育内容の方向性を目指す高等学校に対し、地域バランスを考慮して追加導入する。

＜導入候補例＞

- ・SSH実施校
- ・グローバル関係で探究学習を重視する学校 等

(2) 地域課題に対応した中高一貫教育の導入を検討する。

＜導入候補例＞

- ・地域連携を一層進める中高一貫校（併設型・連携型）
- ・不登校や外国にルーツのある子などが6年間学べる中高一貫校 等

### 3 今後のスケジュールについて

年月日	検討内容
2022年 8月～ 10月	○「中高一貫教育導入検討部会」による検討（3回程度） （主な検討内容） ・第一次導入校の詳細な内容について ・第二次以降の導入候補校について ・「中高一貫教育導入方針（第二次以降導入候補校含む）（案）」の取りまとめ
10月下旬 ～11月上旬	○第3回「県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会」（親会議） ・「中高一貫教育導入方針（第二次以降導入候補校含む）」の検討
11月～ 12月	○「中高一貫教育導入方針（案）」パブリック・コメントの実施 ○「中高一貫教育導入方針（第二次以降導入候補校含む）」決定・公表

○ 第一次導入校の入学生徒の選考方法（適性検査・面接・調査書）、導入のねらいや教育内容については、市町村教育委員会や県立高校などの**教育実務者によるワーキンググループ**を設け、具体的な検討を進める。（2022年9月～（予定））  
※ワーキンググループの枠組は、第4回中高一貫教育導入検討部会（8月中旬予定）で検討。

4 第一次導入校の具体化に向けて検討するワーキンググループの設置について  
(イメージ)

県立高等学校再編将来構想具体化検討委員会（親会議）

中高一貫教育導入検討部会（第4回以降）

第二次以降導入候補校の  
方向性

第一次導入校の  
具体的な枠組

第一次導入校ワーキンググループ（2022年9月～）

第3回部会の事務局案を踏まえ、4校共通の枠組を具体的に検討する。

<検討内容>

○中高一貫教育導入のねらい、教育内容

- ・導入のねらいと教育内容の整合性について
- ・中高一貫校と、中高一貫校以外の学校との関係性について
- ・先取り、少人数・習熟度別指導について 等

○教員配置

- ・教員構成をどうするか（副校長・主任・養護教諭等）
- ・中学校教員と高校教員の配置構成をどうするか 等

○入学者の決定方法

- ・適性検査・面接の在り方をどうするか
- ・調査書の扱いや内容をどうするか
- ・抽選を導入するのか 等

○併設中学校の通学区域

- ・県外枠を導入するのか 等

※その他、給食・部活動など  
必要に応じて検討

<委員構成>

- ・第一次導入校関係者
- ・第一次導入校市町村教育委員会関係者
- ・総合教育センター所員
- ・教育委員会事務局関係者 等

○教育課程・内進生と外進生の混合  
時期

導入校ごとに、各校の特色を踏ま  
えて検討

○具体的な教員配置

県教育委員会、教育事務所、市町村教育  
委員会等の関係者で個別調整

○中高一貫校勤務の採用枠

県教育委員会で検討